

スキルアップ研修会実施要領

1. 目的

メタボリックシンドロームの概念を活用した特定健診・特定保健指導は、医療保険者の策定するデータヘルス計画の主要な保健事業であり、厚生労働省の「標準的な健診・保健指導のプログラム(改訂版)」においても、メタボリックシンドローム該当者以外のリスク保有者（高血圧・高血糖・脂質異常）とすでに治療中の方の重症化予防・合併症予防の対策が盛り込まれ、その実施・評価が期待されている。

そこで、鹿児島県の健康課題である腎不全・糖尿病等をはじめとする生活習慣病の予防事業を担う専門職が、特定健診結果等を踏まえた生活習慣病の発症・重症化予防のための効果的な保健指導ができるための支援方法を学ぶことにより、データヘルス計画の円滑な実施に資することを目的とする。

2. 研修目標

- (1) 腎臓の機能を理解し、CKD（慢性腎臓病）について対象者の身体で起こっているメカニズムを説明できる知識を習得し、腎臓を守るための保健指導及び保健事業に活かすことができる。
- (2) 脳血管疾患の発症の基礎知識を理解し、脳血管疾患の発症・重症化予防のための保健指導に活かすことができる。
- (3) 身体の中で起こっている代謝のイメージを理解し、メタボの概念に基づいた糖尿病とその合併症のメカニズムを活かした保健指導ができる。
- (4) 効果的な健診・保健指導を実践している事例を共有し、今後の保健事業や支援方法に活かすことができる。

3. 実施主体

鹿児島県保険者協議会

4. 日時、場所

平成28年8月27日（土） 午前 9時50分～午後3時00分 マリンパレスかごしま 3階マリンホール
平成28年8月28日（日） 午前10時00分～午後3時00分 マリンパレスかごしま 3階マリンホール

5. 研修受講対象者

- (1) 医療保険者及び市町村に所属している特定健診担当者及び、特定保健指導に従事する医師、保健師、管理栄養士、一定の保健指導の経験のある看護師
- (2) 医療保険者と特定健診・特定保健指導の委託契約を締結している民間事業者の医師、保健師、管理栄養士、一定の保健指導の経験のある看護師

6. 申し込み方法

鹿児島県栄養士会へ FAX(099-256-1217)にて、7月29日（金）17時までに申し込んでください。

FAXには、「氏名」「特定保健指導経験の有無」「受講日」を記入してください。

7. 研修プログラム

平成28年8月27日（土） マリンパレスかごしま 3階マリンホール

時間	講演内容(敬称略)	研修のねらい
9:30～	受付	
9:50～	オリエンテーション あいさつ 鹿児島県保険者協議会 会長	
10:00 ～ 12:00	講演 「生活習慣病からの新規透析導入患者減少のために ～特定健診・特定保健指導に求められるもの～(仮)」 【講師】 筑波大学医学部医療系腎臓内科学 医師 山縣 邦 弘	①CKD（慢性腎臓病）の発症のメカニズムについて学ぶ ②CKDの現状と課題を理解する ③CKD対策における特定健診・特定保健指導の役割について理解する ④今後の保健事業の取組に活かすことができる
12:00～	休憩	
13:00 ～ 15:00	講演 「鹿児島県の脳卒中、発症・重症化予防のための提言(仮)」 【講師】 国立病院機構鹿児島医療センター 脳・血管内科医長 医師 松岡 秀 樹	①脳血管疾患の基本的知識を学ぶ ②脳血管疾患の現状と課題を理解する ③脳卒中対策における保健と医療の連携を理解する

平成28年8月28日（日） マリンパレスかごしま 3階マリンホール

時間	講演内容(敬称略)	研修のねらい
9:30～	受付	
9:55～	オリエンテーション	
10:00 ～ 12:00	講演 「糖尿病と耐糖能異常のメカニズムについて ～保健指導に携わる専門職に求められるもの～(仮)」 【講師】 聖マリアンナ医科大学病院 代謝・内分泌内科 医師 田中 逸	①メタボリックシンドロームの概念を学ぶ ②メタボのメカニズムを対象者に理解してもらうための手法を学ぶ ③保健指導の実際に活かすことができる
12:00～	休憩	
13:00 ～ 15:00	報告 「鹿児島県の医療費について」 事例発表 「効果的な保健指導の事例について」 【発表】 発表者1（調整中） 発表者2（調整中） 【グループワーク】 「特定健診・特定保健指導について話そう！」	①8年間の特定健診・保健指導の評価を行い、本県の課題を学ぶ ②好事例を参考に、今後の保健指導の実践にどの様に生かす事ができるかを討議する
15:00	閉会	